



のび太くんのように

教諭 中村 廣達

最近、物騒な事件が相次いで起きています。誰かを騙し傷つけたり、家族内で命を奪いあったり等、挙げればきりがありません。朝、毎日のように悲しいニュースを耳にし、沈んだ気持ちになります。そんなある日、悲しい報道を聞いても、「あっ、またか…」と、この状況に慣れてしまっている自分がいることに気づきはっとしました。そして、どんな時でも人の痛みを受け止め寄り添う心を忘れてはいけないと、改めて自分に言い聞かせました。

話は変わりますが、誰もが知っている「ドラえもん」。皆さんは、のび太くんとしずかちゃんの結婚にまつわる次のエピソードを知っていますか。結婚式の前日、のび太くんと結婚するかどうか直前まで迷っていたしずかちゃんに、しずかちゃんのお父さんが、「あの青年は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことができる人だ。それが人間にとって一番大事なことのだからね。」という言葉伝える場面があります。しずかちゃんは、お父さんのこの言葉に後押しされて、のび太くんと結婚を決断します。アニメの一場面に過ぎませんが、人間の本質を説いた心に響く印象的な台詞で、私もそういわれる人間でありたいといつも思っています。

学校では、道徳で、思いやりや善悪の判断、正義・誠実、社会との関わり、生命や自然との関わり等について学びます。「人を傷つけない」「素直に伸び伸びと生活する」「気持ちのよい挨拶をする」「生命や自然を大切にすること」等の大切さは、みんな分かっています。でも、出来ない時だってあります。そんな時にどう行動するか。自分の気持ちをどんな言葉で相手に伝えるか。道徳の授業では、教科書の題材や身近な例をもとに登場人物の気持ちや状況を想像し、「自分ならどうする？」と自分事として考え、友達の考えと比較しながら、自分の考えを深めたり広げたりする学習を行い、道徳的实践力を育てます。

先日の授業では、「いただきます」の意味を考えることを通して、命や食べ物に感謝しながら食べることの大切さを学びました。その日の給食時間、残さず食べたり気持ちを込めて「いただきます」と言ったり、命をいただいて自分の命があることを感じながら、感謝して食べる様子が見られました。そして1週間後のある日。給食を食べ終わった後に、児童の一人が、「今日もちゃんと給食食べたよ。家でも『いただきます』を言っているよ。」と教えてくれました。授業で学んだことをきちんと受け止め、日常生活の中で実践していることが、私はとてもうれしいです。

山越小学校の子供たちは、素直で優しい子ばかりです。子供たちが将来、明るく住みよい社会を作る一員として成長することを願わずにはられません。「自ら考え行動する子」の育成のため、教職員が研鑽を積み続け、児童に寄り添いながら、のび太くんのような優しく逞しい気持ちをもった子供たちを育てていきたいと思えます。



7月行事予定

3月	眼科検診	17月	海の日	こども神輿
5水	水泳学習①	19水	5時間授業	
11火	トンネル見学(高学年)	20木	小小連携(meet)	
12水	移動図書	24月	午前授業(給食なし)	大掃除
13木	参観日	25火	夏季休業開始	個人懇談
14金	水泳学習②			試食会

よく頑張った運動会（1・2年生）

11日（日）。天気が心配されましたが、無事に運動会を行うことができました。今年の運動会は、地域の方も参加されて、昨年と比べて賑やかな運動会となり、子供たちも大変喜んでいました。

運動会では、一人一人が全力で取り組み、これまでの練習の成果を発揮する姿が、随所に見られました。葵子さんは、初めての運動会で、堂々と選手宣誓をすることができました。また、10分間走で最後まで頑張り抜く姿も素晴らしかったです。メイさんは、短距離走と10分間走で昨年の記録を更新するなど、自分の目標に向かって頑張る姿が光っていました。花楓さんは、「シンデレラガール」での大きくメリハリのある動きやリズムを刻みながら楽しく踊る姿が素晴らしかったです。

運動会を通して、一回り大きく成長し、頼もしく感じます。運動会で学んだ多くのことを、今後の学校生活に生かせるよう指導を続けていきます。保護者の皆様、前日準備のお手伝いやたくさんのご声援、本当にありがとうございました。



身近なところから（5・6年生）

27日（火）に、CSクリーン作戦を行いました。今年もたくさんの方にご参加いただき、張り切ってごみを拾う子供たちの様子が見られました。恒例の活動ですが、毎年ごみが放棄されていて、住みやすく気持ちのよい環境を維持するには、自分たちの日々の努力や人々の協力が不可欠であることを再認識しました。

先日、家庭科の授業で、5年生は「整理整頓」、6年生は「掃除」について学習しました。どちらも、自分や周囲の人の安全を守ったり快適な環境を維持したりするために必要なことです。世間ではSDGsという言葉が浸透しつつありますが、「世界規模の課題」と言われても、ピンとこないのが現状です。

今回のクリーン作戦のように、身近な人たちとの活動をきっかけに、子供たちが、自分の生活と世界のつながりを感じることができるようになればと思います。お忙しい中、子供たちと一緒に活動してくださりありがとうございました。



わくわくのなかよし学習（特別支援学級）

16日（金）。3年生になって初めてのなかよし学習がありました。3時間目に、落部小学校、八雲小学校、八雲中学校、熊石中学校とmeetで交流会をしました。第1回の主な内容は、「自己紹介」と「学校クイズ」です。「自己紹介」では、自分についてどんなことを紹介したいか、4月から話し合い、たくさんの候補から3つに絞りました。紙に書き起こし何度も読む練習を重ねて、さあ本番。「あれ、ちょっと緊張しているかな？」と、いつもの声の張りがありません。普段にはない緊張感を画面越しに感じたのでしょうか。自己紹介の後、休憩時間に少しリラックスして、後半の「学校クイズ」に臨みました。クイズを出す場面では、練習の時のようにすらすら発表することができました。また、ノリに乗ってクイズに答え、たくさん正解することもできました。

第2回は、パノラマパークでみんなと交流する予定です。感想発表では、どの子も「早くみんなに会いたいです」と言って、楽しみにしているようでした。



CS田植え体験

6日（火）。野田生中学校区コミュニティスクール（CS）の活動の一環として、山越小、東野小、野田生小、浜松小の4校が東野小学校に集まり、田植え体験をしました。

今回は、学年別にグループを組み、他校の同学年の子供たちと一緒に苗を植えました。

はじめは、ヌルヌルした泥の感触に腰が引けていた子供たちですが、慣れると要領よくまっすぐに苗を植えることができるようになりました。また、他校の子供たちと声をかけ合いながら活動するなど、交流が深まり、いつも一緒に過ごしている仲間のような連帯感が生まれていました。

楽しい時間は、あっという間に過ぎました。田植えを終えた子供たちは、植え切ったという充実感でいっぱいでした。そして、早くも秋の収穫に思いを馳せているようでした。

東野地域の山の会の皆さん、本当にありがとうございました。

